

## 令和元年度 総合母子保健・福祉ネットワーキング事業

### 研修会を開催いたしました

保健所管内の母子保健の推進及び発達障害児等の療育相談指導体制の強化を図ることを目的として、研修会を開催しました。

今年度は2名の講師をお招きし、発達障害や児童虐待に関するご講話をいただき、定員を超える79名の方が研修を受けました。

【日 時】 令和元年8月28日（水）14時00分～16時30分

【場 所】 茨城県立医療大学 講義棟3階 小講義室136

【参加者】 家庭児童相談員，保健師，保育士，教諭など，親子に関わる専門職 計79名

【内 容】 （1）講演 『発達障害が疑われる子や親への支援』

講師 茨城県立医療大学付属病院 准教授（第三診療科長）  
中山 智博 医師



#### \*参加者アンケートより\*

- ・乳幼児健診などの保健指導で活用できると思った
- ・褒めることや昔の遊びがいかに大切か分かった
- ・生活習慣を整えることで、癇癪や多動、言葉の遅れなどを解決できるということが分かった
- ・丁寧に分かりやすく、すぐに実践できる対応が分かってとても良かった …など

（2）講演 『児童虐待に関連した親や子に対する理解』

講師 守谷こどものこころとからだのクリニック 院長  
永吉 亮 医師

#### \*参加者アンケートより\*

- ・事例をふまえた説明で、虐待の基本から具体的な親への支援法まで理解できてよかった
- ・虐待をしている親との関わりに悩むことはあるが、今回聞いた着眼点を持って関わっていききたい
- ・たくさんの大人たちが皆が協力して子どもたちを見守っていくことが大切だと思った …など

